



園芸産地づくりに取り組む産地を応援します

本市では、儲かる農業の実践に向けて、平成30年度から市単独補助事業「元気な農業応援事業」※₁を創設し、「新たな園芸産地づくり」を支援しています。

園芸産地づくりに取り組む生産者を応援し、さらなる園芸拡大の取り組みを推進するため、豊栄地区（『豊栄とまと』）と並んでトマトの二大産地である濁川地区（『にがりかわトマト』）の産地を中原市長が視察します。

儲かる農業の機運醸成と市内産農産物の消費拡大のため、広報にご協力くださるよう、お願いいたします。

記

1 と き 令和7年5月28日（水） 13:45～14:45

2 ところ 農事組合法人濁川生産組合※₂ 園芸施設

〔 集合場所 濁川生産組合園芸施設（北区濁川291番地）
13:35に集合してください 〕

3 参加者 新潟市農業協同組合

代表理事組合長 長谷川 富明 様

新潟市北区 にがりかわトマト生産者

農事組合法人濁川生産組合

会長理事 田村 良雄 様

代表理事 田村 雄太郎 様

新潟市長 中原 八一



北区濁川地区は、『にがりかわトマト』の産地です。
甘みと酸味のバランスがよい大玉系トマトで、春トマトは7月上旬まで出荷されます

4 行 程 園芸施設視察、トマトの試食、働き方改革についてなど生産者との懇談

5 取材希望の申し込みについて

当日現地取材いただける場合は、会社名、人数、代表者氏名・連絡先を令和7年5月27日（火）正午までにE-mail等により下記問い合わせ先までお知らせください。

※₁ 元気な農業応援事業

農業の持続的発展と効率的で安定した魅力ある農業の担い手の育成を目的に、園芸作物の導入による経営の複合化などの取り組みを支援する本市独自事業。

※₂ 農事組合法人濁川生産組合

平成元年に設立され、当初は水稻の生産組合として始まったが、5年後には園芸栽培もスタートさせ、夏、秋はトマトを、冬は小松菜や水菜、リーフレタスなどを栽培。働きやすい職場づくりにも取り組んでおり、令和元年には全国優良経営体表彰（働き方改革部門 農林水産大臣賞）受賞。

【問い合わせ先】

新潟市農林水産部 農林政策課 佐藤・松川

電話 025-226-1761（直通）/FAX 025-226-0021

E-mail nosei@city.niigata.lg.jp



○ 行程

13:35 農事組合法人濁川生産組合 園芸施設 集合・受付
⇒ 14:20 懇談・にごりかわトマト試食 【撮影可】

⇒ 13:45 園芸施設視察 【撮影可】
⇒ 14:45 生産者視察終了・現地解散